

千葉大学病院にて中心性漿液性脈絡網膜症の診断を受けられた患者の皆様、ご家族の皆様へ

2026 年 4 月 15 日
眼科

眼科では、中心性漿液性脈絡網膜症 (CSC) に関する研究を行っており、以下に示す方の診療情報を利用させていただきます。研究内容の詳細を知りたい方、研究に情報を利用して欲しくない方は、末尾の相談窓口にご連絡ください。

本文書の対象となる方

2012 年 1 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の間に当院で診断を受けた中心性漿液性脈絡網膜症の方

1. 研究課題名

「CSC における OCTA を用いた非侵襲的 PDT 照射範囲決定アルゴリズムの構築」

2. 研究期間

2026 年承認日～2029 年 3 月 31 日

この研究は、千葉大学医学部附属病院観察研究倫理審査委員会の承認を受け、病院長の許可を受けて実施するものです。

3. 研究の目的・方法

本研究は、CSC の画像に関する研究です。CSC は脈絡膜から網膜側に滲出液が生じることにより視力低下を引き起こしますが、治療のために漏出点を特定することが必要であり、これには蛍光眼底造影検査が必要です。造影検査には造影剤の注射が必要なため、アレルギー反応などの合併症が生じることがあります。一方、光干渉断層血管撮影 (OCTA) を用いると、造影剤を使用せずとも脈絡膜や網膜の血管を描出することができますが、CSC の漏出点を特定することはできません。本研究では、CSC の方の画像を多数解析し、造影剤を使用せずに治療方針を決定できるようにすることが目的となります。

2012 年 1 月 1 日～2026 年 3 月 31 日の間に CSC の診断を受けられた方を対象とし、診療録に記載されている視力、中心窩網膜厚、脈絡膜厚の有無、蛍光眼底造影の画像、OCT、OCTA、自発蛍光の画像などを調べます。

本研究においては、氏名等の個人を識別できる情報を削除し、研究 ID に置き換えたデ

ータを作成します。氏名等と研究 ID の対応表は、当施設において担当者が責任をもって保管・管理し、外部には送付しません。

4. 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：年齢、性別、生活歴（飲酒・喫煙など）、職業歴、既往歴、併用薬、家族歴、屈折値、視力、眼圧、眼底写真、OCT 画像、OCT アンギオグラフィ画像、蛍光眼底造影検査画像、網膜厚、脈絡膜厚、自発蛍光眼底画像

5. 研究組織

【研究機関名及び本学の研究責任者名】

研究機関：千葉大学医学部附属病院 病院長 大鳥精司

研究責任者：千葉大学医学部附属病院眼科 助教 岩瀬雄仁

6. 個人情報の取り扱いについて

本研究で得られた個人情報は、氏名等の個人を特定するような情報を削除し、どなたのものかわからないように加工して、厳重に管理します。データ等は、千葉大学大学院医学研究院眼科研究室の鍵のかかる保管庫で保管します。研究結果を学術雑誌や学会で発表することがありますが、個人が特定されない形で行われます。

本研究についてご希望があれば、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧する事ができますので、相談窓口までお申し出ください。個人情報の開示に係る手続きの詳細については、千葉大学のホームページをご参照ください。

(URL : <http://www.chiba-u.ac.jp/general/disclosure/security/privacy.html>)

7. 研究についての相談窓口について

研究に情報等を利用して欲しくない場合には、研究対象とせず、原則として研究結果の発表前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口までお申し出ください。情報等の利用をご了承いただけない場合でも不利益が生じる事はございません。

その他本研究に関するご質問、ご相談等がございましたら、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

相談窓口：〒260-8677

千葉県千葉市中央区亥鼻 1－8－1

千葉大学医学部附属病院眼科

医師 岩瀬雄仁

043 (222) 7171 内線6804